

会 議 録

1	会議名称	第3回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
2	日 時	平成27年11月21日（土）午後7時00分から
3	場 所	生涯学習センターさくらドーム21 2階 視聴覚室
4	出席委員	笹山委員、高松委員、宇野委員、津田委員、上野委員、宮本委員、西本委員、杖村委員（代理：久志野氏）、坂本委員、谷口委員、山田委員、戸部委員、山加委員、元屋委員、千葉委員、今江委員、昔農委員、守田委員 （欠席：北橋委員、中西委員）
5	事務局	松栄企画振興課長、松浦企画振興課長補佐、南谷企画振興課主任、松本財政課主任、守田企画振興課主任
6	議 題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 （1）宝達志水町人口ビジョン（素案）について （2）宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）について 4 その他 5 閉 会
7	議 事	<開会>
	会 長	合計特殊出生率 2.1 の根拠はなにか。
	事 務 局	本町の過去の例で 1.9 という数値があるため、まずは 2.1 という数値を目標とすることが妥当ではないかということと、国の方で 2.1 という数値を出しているということもあり、過去の 1.9 というデータから、そう遠い数値ではないという意味で、国の示す 2.1 というものになっております。
	西本委員	企業誘致の推進ということで、町内在住者を新たに 20 人雇用する企業に対して、土地を無償貸与するということだが、町内在住者 20 人を集めることは相当ハードルが高いものではないか。
	事 務 局	町内で求職している企業で、反対に集まらないというようなところもあると聞いております。具体的な事業化の際に検討させていただきたいと思います。
	会 長	具体的にどんなような企業に来てほしいといったようなポイントのようなものはあるのか。
	事 務 局	特に業種については拘っておりません。近辺に了解を得ていただける企業とといったようなことを考えております。

<p>会 長</p>	<p>例えば宝達山には非常に豊富な伏流水があると聞いているが、その伏流水を使った、例えば食品や半導体メーカーなど、伏流水を使った企業誘致など、色々あると思う。宝達志水町の資源を活用するような企業を誘致するかということが、ポイントだと思う。</p>
<p>久志野氏 (杖村委員代理)</p>	<p>能登中核団地でも非常に求人倍率が高くて、人が足りないというような状況が続いており、能登地区の方でも人が足りない状況にある。方向性として、新しい企業を連れて来るのか、今ある企業を大切にするのか、その辺の戦略は集中してやった方がいいのではないかと。</p>
<p>千葉委員</p>	<p>今の案の段階では、補助金や助成金がすごく充実していて、住む住民としては大変ありがたいが、町としてはやっていけるものなのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>国からの交付金を充当できるものから実施していきたいと思っており、全てに交付金を使えることになれば非常に嬉しいのですが、そこはまだはっきりと見えないところがあります。</p> <p>今の段階では、どのように事業に取り組めるか、これから財政的なことを、国、県などに確認しながらまとめていきたいと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>「農業の六次産業化の推進」とあるが、まず農業の基本政策が無くて、いきなり六次産業化の推進は難しいのではないかと。</p>
<p>元屋委員</p>	<p>町の主産業である農業が衰退している中で、新規就農者を増やすという目標を立てないのは、農業が衰退していくのを放置していくのと同じことだ。</p> <p>羽咋市では自然栽培で新規就農したいと言う人が、全国から問い合わせがあるということも聞いている。同じJAはくいが管轄している町なので、JAはくいを通してでもそういった人達に町に就農してもらうよう働きかけをしないとダメだ。</p>
<p>宮本委員</p>	<p>JAと羽咋市とは自然栽培で協定を結んだ。</p> <p>羽咋市では、イノシシのジビエの関係で施設を建てるということで、羽咋市で採れるイノシシが少ないので、実際には宝達志水町から買い取るようにしているが、それでは宝達志水町に何の得にもならない。</p> <p>六次産業化に関して、女性部会というものがあり、そこでは色んな六次産業化というものをやっている。やっているが、今さら町が取り上げたって、運営そのものに何が出来るかとなる。専門的にしっかりとやっているわけなので。</p>
<p>元屋委員</p>	<p>起業支援の関係で、例えば公民館で興味のある方向けに起業セミナーをしてもいいのではないかと。</p>

久志野氏 (杖村委員代理)	創業に関しては、銀行の方にもあって、色々支援できると思う。 町と話し合いをしながら協調してやっていきたい。
宮本委員	羽咋市が道の駅を作ると出しているが、それと違うことを考えないといけない。
事務局	羽咋市の道の駅を踏まえて色々仕掛けをしたいということを考えております。
宮本委員	町外通勤者への支援だが、これを支援することで、冬場などに事故率が上がることなどを考えなくてもいいのか。これに支援するから通勤してくださいというのはいかがか。
事務局	アンケート調査の中では、通勤時間 30 分から 1 時間までは許容範囲であるということで、これにより転出される方を少しでも引き留めることが出来るのではないかと思います。
久志野氏 (杖村委員代理)	その辺りは、企業を呼ぶか、町外への通勤をとるかといった施策のところだと思う。一つの施策としては良いのではないか。
津田委員	それで若い人たちは留まってくれるのかと疑問符を付けてしまうが、若い人たちはそこまでしても、金沢に近い方が良いとなるのではないかと思います。
会長	具体的な金額はどのような想定をしているか。
事務局	内部で検討しているところです。 効果があるかないか分からないといったことは当然そのとおりですが、まずは、とにかく行動を起こしたいというところからスタートしておりますし、この総合戦略自体も、効果が無ければ次の方法を考えるというような仕組みで動いておりますので、まずはやってみて効果が無ければ次の方法を考えるということで取り組んでまいりたいと考えております。
津田委員	現実性があるかないかという問題がすごく大きいと思う。 例えば居住環境の整備ということで、民間賃貸住宅あるいは若者居住区域整備事業というものがあるが、そもそも町内にそういったニーズがあるのかという問題と、それを実現するためには、ここに住みたいという人のニーズが無ければ実現する話ではない。

事務局	<p>宝達志水町に住みたい、あるいは帰ってきたいといった場合に、住むところが無い、それから結婚する場合においても、若い夫婦が両親と別居して仮住まいをしたいけれども住むところが無いという声が非常に届いております。</p> <p>これについては、何とか若者が住む場所の確保をしたいといった意図でございます。</p>
会長	<p>公民館事業で婚活イベントなどというのは可能なのか。</p>
事務局	<p>以前で言う青年団活動のようなことに、生涯学習課が担当することになっておりまして、そのような切り口から色々とイベント等を考えておりまして、必ずしも公民館活動といった意味ではございません。</p>
谷口委員	<p>町の青年団協議会はまだあるのか。以前ならあそこで結ばれた人がかなりいた。</p>
事務局	<p>今はありません。</p> <p>以前は、この青年団活動というのが、男女の出会いの場であったことは間違いありませんので、そのようなイメージでございます。</p>
会長	<p>結婚アドバイザーというのも、町内に定住してくれればいいが、結婚を機に出ていくという気もするので、町内に定住することが第一条件となると難しい。</p>
事務局	<p>結婚しても、住むところが無いから出て行ってしまいますので、先ほどの若者の住む環境の整備と併せて進めていきたいと思いますが、出て行かれないような仕掛けというものも検討していかなければいけないと考えております。</p>
会長	<p>児童生徒の能力開発事業だが、検定も良いが、例えば中学校あたりで、夏休みの1か月あるいは2か月でアメリカやイギリスなど海外へ留学に行くといったようなダイナミックさがないと、子供達は満足しないと思う。</p>
津田委員	<p>勉強が出来る人ほど、外へ出ていきたがってしまうと思う。</p> <p>これをやるならば、1か月程度、農業など何かの体験で得られるものを教え、自然と接触する機会を沢山あげて、自分たちの町をもう少し知ろうという仕掛けをした方が留まりやすくなるのではないかと。</p> <p>例えば、種子島か屋久島だったかで、外から留学して自然と接する留学事業をやっている、そこに残りたくなるという人が結構いる。あるいは海士町でも、そういった受け入れをやっており、自然に接して、その町を知ってもらって、住んでもらいたいという意識を植えるため、留学をしているので、そのようなやり方の方が良いと思う。</p>

<p>今江委員</p>	<p>ここ数年、色々な学校から総合学習の時間を使って福祉の授業をして欲しいという件数が増えている。それで、障害を持った方や地元の高齢者の方たちと交流する場をセッティングしており、そういう福祉の授業が増えている。</p> <p>もし仮に効果が見込めないのであれば、総合学習の時間を福祉について使ったり、地元に着愛を持つような取り組みをするような時間にして欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>柔軟に幅広く考えていきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>宝達志水町には住宅が何軒あって、そのうち空き家は何軒くらいあるかといった空き家率は把握しているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>300軒近くの空き家が町内にあります。</p> <p>そのうち壊れそうなものが約1割近くあるというふう聞いておりますので、250～260軒が空き家としてありますが、それは住んでいないだけで、空けてあるとか、仏壇があるので人に貸せないとか、色々な理由があると思いますが、これからそういった空き家に対し、バンクに登録しませんかということで、お願いしていくところからスタートになっていきます。</p>
<p>津田委員</p>	<p>空き家事業と、例えば、基本目標②の民間賃貸住宅建設補助事業が重複するというような気がする。あるものを使って安くやるなら空き家の方が良いと思うが。</p>
<p>事務局</p>	<p>ニーズ的な問題もあると思いますが、色々な意見がある中で、やはり若い方はアパートという考え方が往々にしてあると思います。</p> <p>当然、若い方でも空き家に入りたいという方もおいでだと思いますが、全体的に見るとアパートに入りたいという方の方が多いたことが想定されるため、その棲み分けをさせていただいていたところです。</p>
<p>会長</p>	<p>奥能登では、かなりやっているが、ほとんど貸したがない。</p> <p>空き家にはなっているが仏壇があって、お盆には帰ってくるなど、空き家バンクに資するような条件には難しい。</p> <p>そう考えると、250軒ほど空き家があったとしても、恐らくそのうちの1割程度の登録があればいいところかと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、宝達志水町には空き家バンク制度はありませんが、5～6年前に取り組んだことがあります。その時には300軒弱ある中で、貸してもいい、売ってもいいというものが20軒ほどでした。</p> <p>この空き家のターゲットが都会から地方へ来られる、自然の中での生活を望まれるある程度の年配の方ということで想定しております。</p>

<p>元屋委員</p> <p>会 長</p> <p>津田委員</p>	<p>あとは、新規就農者も絶対に空き家に入る。</p> <p>空き家がここにあるというよりも、空き家を改装し、レストランでも民宿でも出来るといったプロモートが無いと、全国一斉に大競争の世界なので。中々難しい。</p> <p>空き家に農地を付けるなど色々しないといけない。</p> <p><閉会></p>
<p>8 資 料</p>	<p>資料1 宝達志水町人口ビジョン（素案）</p> <p>資料2 宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）</p>